

重要無形文化財指定「日本舞踊」

日本舞踊保存会

第四回

研修成果発表会

令和8年

11月6日[金]

14時開演(13:30開場)

中央区立日本橋公会堂

(日本橋劇場) 中央区日本橋蛸殻町1-31-1
日本橋区民センター内(4F)

※ ホールの駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。
(最寄駅: 水天宮前駅・人形町駅・茅場町駅)
交通機関・周辺地図等の情報は、会場の公式サイトでご確認願います。

●入場料: 3,000円(全自由席)

[チケット販売: 9月1日(火) 午前10時より]

■お取扱い: チケットぴあ インターネット予約
<https://t.pia.jp> [Pコード: 544-572]
※セブンイレブン店内のマルチコピー機からも
ご購入いただけます

■お問合せ: 日本舞踊保存会事務局
〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2
パークタワー勝どきミッド410
公益社団法人日本舞踊協会内
TEL 03-3533-6455
FAX 03-3533-8768

■主催: 日本舞踊保存会

■協力:  公益社団法人 日本舞踊協会
The NIHONBUYO Association



日本舞踊保存会及び研修成果発表会について

日本舞踊保存会は、令和5年10月に日本舞踊が国の重要無形文化財として指定されたことに伴い発足、日本舞踊保存会の構成員56名が重要無形文化財「日本舞踊」総合認定保持者として認定されました。保存会会員は現在、立方（舞踊家）74名、地方（演奏家）25名によって構成されています。

保存会の大きな使命は、重要無形文化財である日本舞踊を次代へと伝承していく舞踊家並びに演奏家の養成です。日本舞踊の多彩な特色がよく表れた3つの演目（格調高い祝儀舞踊「老松」、軽妙洒脱な歌舞伎舞踊「浮かれ坊主」、風俗舞踊「茶筌売り」）を選定、保存会会員が指導を担当し、若手から中堅の舞踊家4名、演奏家17名に対し研修を行いました。

舞踊と演奏が一体となった魅力ある日本舞踊の舞台をぜひお楽しみください。

重要無形文化財「日本舞踊」の概要（文化庁資料より抜粋）

日本舞踊は、主に江戸・東京の歌舞伎において初演された歌舞伎舞踊や、京阪において主に座敷舞として発展した京舞及び上方舞から構成された、我が国の伝統的な舞踊である。演目としては18世紀以降につくられた歌舞伎舞踊が多く、割合を占めるが、劇場振付師や舞踊師匠たちを中心に伝承されてきた点、また衣裳付の上演のみならず、本衣裳を排し、より踊り手の技芸に表現の重点をおいた、素踊りも重要な上演形態となっている点など、歌舞伎を離れた独自の歴史や芸術上の表現を有している。

上演にあたっては、立方とともに、長唄、常磐津節、清元節、義太夫節、地歌など演奏を受け持つ地方も不可欠な構成要素となっており、御祝儀物と呼ばれる素踊りの演目群に代表されるように、演奏用に開曲された曲に振付を加えた演目も、主要な伝承曲となっている。

以上のように、日本舞踊は、芸術上特に価値が高く、芸能史上特に重要な地位を占めるものである。

長唄

「老松」

指導者

養成者

●舞踊

●舞踊

花柳寿 美

花柳路 太

●長唄

●長唄

（唄）

唄

杵屋勝四郎

杵屋正 則

（三味線）

杵屋勝四助

今藤美治郎

三味線

松永忠三郎

杵屋勝司郎

杵屋三 禄

清元

「浮かれ坊主」

指導者

養成者

●舞踊

●舞踊

藤間勘 左

西川扇重郎

●清元

●清元

（浄瑠璃）

浄瑠璃

清元梅寿太夫

清元一太夫

（三味線）

清元成美太夫

清元菊 輔

三味線

清元斎 寿

清元美十郎

清元泰寿郎

清元

「茶筌売り」

指導者

養成者

●舞踊

●舞踊

若柳宗 樹

茶筌売り 泉 秀 樹
大原女 坂東はつ花

●清元

●清元

（浄瑠璃）

浄瑠璃

清元梅寿太夫

清元一太夫

（三味線）

清元成美太夫

清元菊 輔

三味線

清元斎 寿

清元美十郎

清元泰寿郎

全演目共通

囃子指導者

堅田 喜三久

囃子養成者

望月 太左幹

住田 福十郎

望月 大 貴

堅田 喜代実

堅田 喜衣紗

各演目笛演奏

福原 徹 彦